

【評価対象年度 2024年度】

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	わんぱく学童保育クラブ		
施設概要	【所在地】町田市小川3-10-1(小川小学校校舎内) 【開設年月】1984年 【開所日時】月曜日～土曜日/8時～19時 【建物面積】延床面積 224㎡ 【建物構造】鉄筋コンクリート造 体育館棟1階部分 【児童数】83名(2024年4月1日時点)		
設置目的	小学校に就学している児童で家庭において、保護者の適切な保護を受けられない者に対して組織的に指導を行い、もって学童の事故防止と心身の健全な育成を図るため		
設置根拠法令・条例	児童福祉法、町田市学童保育クラブ設置条例		
所管部課	子ども生活部児童青少年課	問合せ先	042-724-2182
施設ホームページURL	https://www.machida-gakudou.com/index.html		

(2)指定管理者

指定管理者名	特定非営利活動法人 町田市学童保育クラブの会	法人番号	8012305001202
指定管理者所在地	町田市中町1-19-5		
指定期間	2024年4月1日～2029年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)クラブに入会した学童の保育に関する業務・・・余暇・生活・学習・安全指導、おやつの提供等 (2)クラブに入会した学童の特別保育に関する業務・・・特別保育の利用承認、賦課及び徴収等 (3)管理施設及び設備の維持管理に関する業務・・・施設の保守・管理、修繕等 (4)前各号に規定したもののほか、市長が指定した業務・・・市への報告業務、利用者アンケートの実施等		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
安全管理に努め、様々な体験活動を行う	毎年度	野菜の苗植えや絞り染めTシャツの作成や木っ端を自由に使った制作活動、夏休みに調理活動等を行った。
研修参加の平均回数を年10回以上とし、支援員の資質の向上を図る	毎年度	平均15回。町田市主催の研修に積極的に参加し、資質向上に取り組んだ
市内の業者から物品購入を行う	毎年度	6月には野菜の苗植えのためのプランターや肥料を市内業者から仕入を行い、8月に行った3回のクラブランチでは、お弁当やパンの発注した。

3. 昨年度の課題

内容	特になし
----	------

4. 総合評価及び所見

総合評価	A	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	利用者満足度調査について、全体満足度については、A評価の基準を超える95.5%、サービス・施設管理面については目標値である93.8%には届かなかったものの、93.1%の満足度を得られていることから、高いサービスを提供していると判断できる。 研修の平均受講回数はA評価の基準を超える15.0回であり、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。 業務履行状況・財務状況は全項目「適」と要求水準を満たす運営を行っていた。 以上のことから、総合評価を「A」とした。	

【評価対象年度 2024年度】

指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)

- ・子どもアンケートを実施し子どもの率直な意見を取り入れながら保育環境の整備や遊具の導入を行った。また、当法人が運営する13クラブの合同行事を高学年が主体となって企画し、当日は司会進行も務めオンラインで〇×クイズやお題あてゲームを実施した。
- ・安全計画を基に、施設管理・児童への安全指導・保護者への周知を行った。また、業務継続計画を策定した。次年度以降、定期的に見直しを行う。
- ・子どもの居場所事業は、小学4年生から中学生を対象にした企画を2回実施し、地域を超えた友達との出会いや関わりの機会となった。
- ・女性活躍推進法に基づき一定基準を満たし、女性の活躍促進に関する状況などが優良な企業を認定する「えるぼし認定企業(3段階目)」の認定をうけた。
- ・入退室管理のシステムを導入し、児童の入退室管理や保護者との相互連絡、緊急時に配信メールを使用した情報共有など、児童の安全性や保護者の利便性の向上を図っている。今後はより利便性を高めるため、各種おたより等の配布を入退室管理システムで実施していく。
- ・職員教育に力を入れ、法人常勤研修として外部講師による「職員のマルチリトメント」「子ども主体の保育」をテーマに研修を行った。
- ・職員のメンタルヘルス対策として外部相談窓口を設け、健康管理に努めた。
- ・積極的にボランティア・中学生職場体験の受け入れやゼルビアとの交流会などを実施し、子どもたちの様々な経験に繋がった。
- ・保育参観は3回実施し、「工作教室」「水鉄砲大会」「お化けやしき」のイベント準備を子どもたちと一緒にを行い、学童保育クラブの雰囲気を知る機会となった。
- ・広告の裏紙や折り方を失敗した折り紙などを捨てずに再利用するために「リサイクルボックス」を設置し、ごみの削減と再利用の意識付を行った。
- ・福祉事業所からのお弁当を購入し、地域の障がいのある方の仕事について知る機会を設けた。
- ・子どもたちの体験活動として、5月から夏休みにかけて、野菜を班ごとに育ていき、野菜の成長を感じてもらった。絞り染めTシャツ制作では、Tシャツの模様付けだけでなく、自身のTシャツの色付けも行ってもらうように色がついて行くかを体験した。夏休みには、木っ端を使用した制作活動や、調理活動を3回を行い昼食作り体験を行った。
- ・市内の業者からの物品購入として、5月から夏休みに行った野菜の苗植えで使用したプランターや肥料を市内業者であるウッディガーデンから購入したり、教材や消耗品等、おやつ等市内の業者やスーパー等から購入した。
- ・利用者アンケートの利用者満足度が、2023年度に比べて5%低い評価となった。特に「お子さんは楽しく学童クラブに通えていると思いますか」という設問1と「学校と学童保育クラブとの情報共有について、どの程度満足していますか」という設問13の評価が低かった。設問1に対する利用者の声として、「家で過ごしたいと話ず時がある」、「仲の良い友達がいない」が上がった。日々の保育の中で、子どもたちが学童クラブに通っている全員が仲間であるという意識を持てるような声掛けや取り組みを実施していく。また、設問13の学校との連携では、学校とどのように連携しているかを利用者伝えていく。
- ・社会活動への参加としてみちピカ町田(地域のゴミ拾い)を実施した。
- ・保護者と支援員の学習会「思春期と向き合う」をテーマに現地とオンラインのハイブリット形式での開催となった。

【評価対象年度 2024年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】 2024年9月2日～10月13日(42日間) 【登録児童数】 74名(調査月1日時点) 【配布枚数】 74枚 【回答数】 66枚 【回収率】 89.2% 【調査方法】 (配布方法)一斉配信メール (回収方法) web回答
------	---

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (全体満足度)	(全体満足度の項目において、満足・やや満足とつけた割合) A: 95%以上 B: 75%以上～95%未満 C: 75%未満	98.1%	95.5%	A	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2024	2025	2026	2027	2028
目標値(当初)	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1
目標値(変更後)	/				
実績値	95.5				

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (全体満足度以外)	(全体満足度以外の9項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合の平均) A: 95%以上 B: 75%以上～95%未満 C: 75%未満	93.8%	93.1%	B	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2024	2025	2026	2027	2028
目標値(当初)	93.8	94.2	94.6	94.8	95.0
目標値(変更後)	/				
実績値	93.1				

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
研修参加回数	(常勤職員の市及びその他関係機関主催研修会回数の平均) A: 10回以上 B: 2回以上10回未満 C: 2回未満	10回	15.0回	A	
指定期間内における実績(単位: 回)					
年度	2024	2025	2026	2027	2028
目標値(当初)	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
目標値(変更後)	/				
実績値	15.0				

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	利用者満足度においてB評価の基準を満たす75%以上の保護者が「満足」または「やや満足」と回答しており満足度は要求水準に達していた。保護者からも一定以上の満足度を得られていることから、適正な運営が行われていると判断できる。アンケート回収率は75%を超えており、利用者の意見の収集に取り組んでいたと判断できる。研修の平均受講回数は15.0回とA評価の基準を超えており、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。町田市主催研修に参加するだけではなく、運営法人やクラブ内研修等を積極的に実施していることも評価できる。

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

【評価対象年度 2024年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
施設運営	放課後児童クラブ運営方針・事業計画等に基づく保育の実施	放課後児童クラブ運営方針及び各計画に基づく事業の実施	事業を適切に実施していることを「年間計画」及び「実施報告書」で確認した。	適
	保護者・利用者への平等な取り扱い	保護者・利用者への平等な取り扱いの実施	保護者・利用者への平等な取扱いを「学童保育クラブ入会のしおり」及び「児童ケース記録」等で確認した。	適
	保護者への情報提供	お便りや広報誌の配布又はHP・メール配信等での情報発信	保護者へ適切に情報提供をしていることを「おたより」等で確認した。	適
情報管理	個人情報保護体制	個人情報保護体制の整備及び更新、個人情報の適切な管理	個人情報保護体制が整備されていることを「個人情報保護規定」、「個人情報取扱マニュアル」等で確認した。	適
	情報公開体制	情報公開体制の整備及び更新	情報公開体制が整備、更新されていることを「文書管理規定」で確認した。	適
安全管理	避難訓練の実施	火災、地震、防犯、交通安全に関する訓練を年2回以上実施。	火災、地震、防犯、交通安全に関する訓練を年2回以上実施していたことを「事業報告書」で確認した。	適
	安全計画及び業務継続計画	安全計画及び業務継続計画に基づく保護者・職員周知、見直し	安全計画及び業務継続計画で保護者や職員に対する周知の計画があることを確認した。	適
	子どもの体調不良や事故に対する備え	事故防止の取組、事故等発生時の対応手順の整備及び更新	子どもの体調不良や事故等に対する対応手順が整備されていることを「緊急時対応マニュアル」で確認した。	適
人的安定性	職員の適切な配置	業務仕様書に基づく配置	適切に職員が配置されていたことを「育成日誌」及び「シフト表」で確認した。	適
	職員研修の実施	職員全員の年2回以上研修の受講	年2回以上、職員研修を受講していたことを「研修記録」で確認した。	適
地域貢献	地域団体との連携	地域での社会活動等への参加	地元団体と連携した行事等を実施していたことを「事業報告書」等で確認した。	適
	まちもとの連携	放課後子ども教室「まちとも」運営協議会への参加	放課後子ども教室「まちとも」運営協議会へ参加していることを「事業報告書」等で確認した。	適
配環境	環境負荷軽減の取り組み	提案内容の実施	環境負荷低減に向けた取り組みを実施していたことを目視で確認した。	適
業務仕様書	施設物品の管理	年1回現況確認の実施	施設物品が適切に管理されていることを「物品台帳」等で確認した	適
	その他	指定書類の期間内提出及び指定頻度での施設点検の実施	書類の提出や施設点検が適切に実施されていることを「安全点検チェックリスト」等で確認した。	適

(2) 業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
会計経理	会計経理事務	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2024年11月27日に同一法人が管理する金井学童保育クラブでモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適
労働条件	労働条件	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2024年11月27日に同一法人が管理する金井学童保育クラブでモニタリングを実施し、就業規則等の項目で「不適」であったが、年度中に是正されたことを確認したため「適」とする。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	要求水準を満たしていることを、各種根拠資料、事業報告書、育成日誌、現地調査、ヒアリングにて確認した。

【評価対象年度 2024年度】

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

年度 項目		2024		2025			2026		
		予算	決算	予算(当初)	予算(変更後)	決算	予算(当初)	予算(変更後)	決算
収入	指定管理料	30,896	26,024		0			0	
	特別育成料	235	384		0			0	
	雑費	0	2		0			0	
	計	31,131	26,410	0	0	0	0	0	0
支出	人件費	25,787	22,125		0			0	
	精算対象経費(人件費以外)	1,875	996		0			0	
	管理費	833	680		0			0	
	運営費	769	654		0			0	
	間接経費	1,867	1,993		0			0	
	計	31,131	26,448	0	0	0	0	0	0
総計(収入-支出)		0	-38	0	0	0	0	0	0

年度 項目		2027			2028		
		予算(当初)	予算(変更後)	決算	予算(当初)	予算(変更後)	決算
収入	指定管理料		0			0	
	特別育成料		0			0	
	雑費		0			0	
			0			0	
	計	0	0	0	0	0	0
支出	人件費		0			0	
	精算対象経費(人件費以外)		0			0	
	管理費		0			0	
	運営費		0			0	
	間接経費		0			0	
	計	0	0	0	0	0	0
総計(収入-支出)		0	0	0	0	0	0

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2024	2025	2026	2027	2028
経常利益率	1.6				
負債比率	64.1				

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	決算書により、指定管理業務に関わる収支については主に間接経費によりマイナスとなった。 また、法人の経常利益率がマイナスになっておらず、負債比率が100%を下回っていることから、今後も適切な施設運営が可能であると考え。